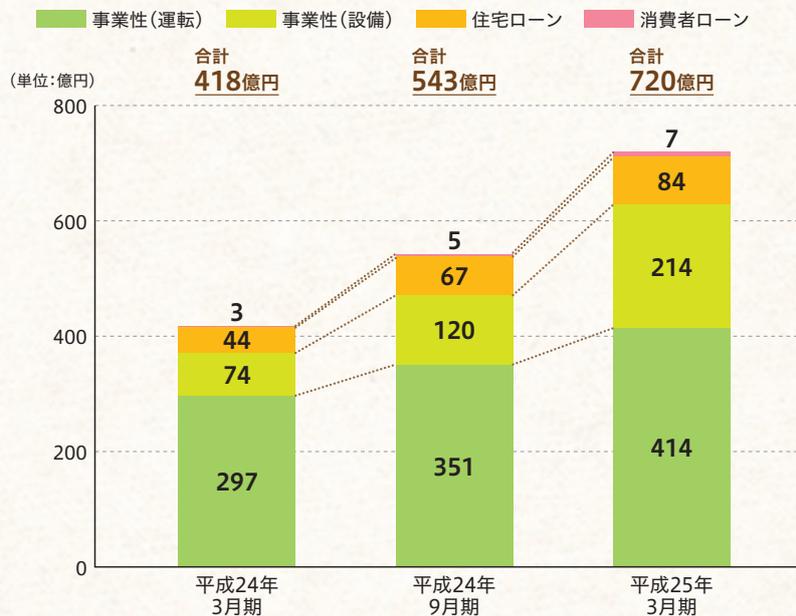


地域の皆様とともに

仙台銀行の本業支援

●被災者向け新規融資実行額累計



当行は、東日本大震災の発生直後から、被災されたお取引先の早期復興に向けて、様々な資金需要に積極的に取り組んでいます。平成25年3月末までの被災者向け新規融資実行額は2,948件720億円となりました。

また、中小企業診断士や不動産鑑定士、農業経営アドバイザー等が、多様な復興ニーズを踏まえ、きらやか銀行とも連携し、協調融資やDDS（既存債務の劣後ローン転換）等の資金支援、二重ローンご相談、アグリビジネス支援等に取り組んでいます。

取り組み事例

石巻・牡蠣養殖業者の「6次産業化」復興を支援

宮城県石巻市狐崎浜地区は、県内でも良質な牡蠣養殖産地でしたが、震災の津波により養殖施設や漁船が壊滅的な被害を受けました。

こうした中、被災した牡蠣養殖個人事業者6名が立ち上がり、自らの生産物を自らが加工・販売する6次産業化を目指した共同出資法人「宮城県狐崎水産6次化販売」を設立しました。

当行は、営業店と地元企業応援部（水産業経営アドバイザー）が連携し、事業計画策定をサポート、牡蠣加工場の建設資金と運転資金を融資しました。

当法人では牡蠣の出荷・販売を再開しており、この取り組みは、漁業復興の新たなビジネスモデル、被災地雇用の受け皿として期待が高まっています。

【企業概要】

企業名：株式会社宮城県狐崎水産6次化販売
 事業内容：牡蠣等水産物の養殖・加工・販売
 所在地：宮城県石巻市狐崎浜
 設立年月日：平成24年7月5日



トピックス

復興支援に向けて被災店舗をリニューアル

● **大河原支店、塩釜支店が新たにオープン**

大河原支店（宮城県大河原町）は、震災で地震による被害を受けたことから、平成25年6月に同町内に移転のうえ、新築オープンしました。新店舗には、ゆとりある駐車スペースや各種相談コーナーを設け、お客さまの利便性をさらに高めました。

同じく被災した塩釜支店（宮城県塩釜市）は、仮店舗で営業していましたが、平成25年7月に新店舗が完成し、オープンしました。

また、苦竹支店（仙台市宮城野区）は、現在新築建替え工事を進めており、平成25年度中にオープンする予定です。

● **被災地・南三陸町への店舗再出店を決定**

当行は、本格化する沿岸部の復興をさらに支援するため、平成25年度内を目途に南三陸町志津川地区に新店舗を建設予定です。この新店舗には、震災後、町外で営業している志津川支店と歌津支店を移転・同居させ、南三陸町での窓口営業を再開する方針です。

また、国分町支店（仙台市青葉区）を平成25年9月に近隣の本店営業部内へ移転・統合する予定であり、これにより人材などの経営資源を復興支援に一層集中させる方針です。



新築オープンした大河原支店



新築オープンした塩釜支店

新オンラインシステムが稼動。金融サービスをさらに充実

当行は、平成25年5月より、NTTデータが提供する地方銀行・第二地方銀行向けの共同センター「STELLA CUBE®」へ移行し、新オンラインシステムでの業務を開始しました。

このシステムは、バックアップセンターや優れた拡張性を有しており、当行は、一層充実した金融サービスを安定的に提供してまいります。

なお、きらやか銀行も、平成27年5月に同システムへ移行する予定であり、じもとグループ全体での業務効率化を実現してまいります。